

【ボランティアバスに参加される皆さまへ】

シャンティ国際ボランティア会提供資料

【1】活動するだけでなく、被災された方々とのコミュニケーションが大事！

現地での活動は、単なる泥だしや片付けの作業ではありません。地元の方が片付けようと自ら手を動かしているそばにいて「お手伝い」をすることに意味があります。片付けは、現地の方が普段の暮らしの思い出探しをすることであり、ボランティアの方との思い出づくりです。そういうことを意識して、活動を依頼した方とコミュニケーションをとることが大事です。

いろいろな会話をすることが、被災された方を勇気づけることにもつながります。

- ・どんな地域だったのですか？困っていること、不安に思っていることは？
- ・なぜボランティア活動に参加したの？被災地との自分の関わりは？

現地に来られた一人ひとりが、被災された方一人ひとりとお話される中から、いろいろな気づきが発見できると思います。

【2】安全に活動して、無事帰ることが大事！

ボランティア活動が被災された地域や人々に負担をかけないために、安全に活動することが大事です。まず、自分の体調が悪い場合は無理をせず、体調を整えてから現地に向かうようにしてください。また、片付けするものの中には、先のとがったもの、釘や棘の出ている木材など、けがをしやすいものがあり、けがをした場合、感染を起こしやすくなります。安全衛生の担当者を決めて、十分に注意して活動すること、意識が散漫にならないように十分に休憩や水分をとるようにしてください。

(配慮すること(例))

- ・どんなところで活動するのか、どんな活動をするのか、事前に確認しましょう。
- ・粉塵がたくさん舞っています。マスクをかならずつけて活動してください。
- ・休憩時間は十分に、水分補給はまめに。
- ・活動後は、うがい、手洗いの徹底を。

【3】「ボランティアバス」をきっかけに、継続的な支援につなげるのが大事！

一度だけで十分なお手伝いができるとは限りません。また、片付けだけが被災地の支援ではありません。被災された方々のお話したこと、一緒に活動した仲間と話して、継続的に支援できることを考えてみましょう。繰り返し同じ活動をすること、自分の地域で被災地の状況を伝えること、募金活動など、いろいろな形で支援をすることができます。